

～まちが人を育て、人がまちをつくる～

逗子市議会議員

さぎさか ゆうじ 活動報告 vol.7

～無所属で活動中～



■さぎさか ゆうじ(句坂祐二) プロフィール■

1970年2月14日生まれ A型 42歳 逗子市沼間1-8-2

沼間小学校卒業・逗子中学校卒業・私立横浜商工高等学校卒業(有)句坂量店入社
07年逗子市商工会青年部部長・08,09年沼間小PTA会長、08年逗子市PTA連絡協議会会長・神奈川県PTA協議会常任理事・10年(社)逗子葉山青年会議所理事長
家族構成: 妻と長女(中学2年)次女(小学2年)長男(保育園年長) 2010年3月に行われた、市議会議員選挙にて初当選 議会報編集委員会委員長 現在、総務常任委員会副委員長、基地対策特別委員会、議会運営委員会 所属会派 市政クラブ

平成24年 第2回定例会報告

第2回定例会が6月14日～29日に行われました。今回の定例会では、24年度一般会計補正予算及び議案4件、議員提出議案1件と陳情審査が行われ、補正予算及び議案すべて可決承認されました。主な内容は、補正予算では、(仮称)池子の森自然公園(池子米軍住宅地内の約40ヘクタール共同使用予定地)の整備事業における基本計画の委託予算、小坪大谷戸会館の整備予算、太陽光発電設備助成費用の追加予算、資源再利用推進事業予算、次世代育成支援対策費の子育て事業に係る委託予算など、歳入歳出それぞれに5,641万1千円を追加するものです。また、工事請負契約の締結について、浄水管理センター内に設置してある汚泥脱水機の改良工事費用、6億375万円で工事請負契約を締結するものです。動産の取得について、約20年使用した30m級はしご付消防自動車を入れ替えるため、新規車両を1億8,942万円で購入するものです。議員提出議案では、安全で快適な逗子海水浴場の確保に関する条例の一部を改正する条例について、賛成多数(賛成11名:反対7名)で可決承認しました。この条例改正は、逗子海岸の騒音や風紀の乱れがここ数年悪化してきています。毎年、市の職員とともに夜間パトロールも行い改善に努めてきましたが成果が上がっていないため、条例を改正するものです。私も条例改正の必要性については認めているところですが、今回の改正案の中で「ルールの策定及び改訂にあたってルールを順守する側の事業者を除くこと」にしています。これに関しては考えが異なります。海の家や夜の営業時間の延長も廃止して実質的な時間短縮を行うなど、海岸営業協同組合もある一定努力してきていると思います。このような中、ルールを守る側の意見がまったく反映されなくなってしまうと、これまでの協力関係は損なわれ、せっかくルールを作ったとしてもその実効性は薄まってしまいう可能性も懸念されます。また、条例改正案にあたっては、ある一定時間をかけてでも丁寧に進めるべきと考え、今定例会での改正にはついては反対しました。

一般質問では、13人の議員が行い、私は市民自治システムの構築、協働事業提案制度、学校教育、商工業の活性化、次世代育成支援についての進捗状況、課題などについて質問いたしました。6月議会は恒例のアロハシャツで、今年で8回を迎える「まちいっぱいハワイアン in 逗子 2012」のイベントに市も議会も協力し、和製ハワイアン発祥の地として逗子市を盛り上げていきます。



子ども達が安心して楽しめるファミリービーチをめざして



行財政改革は進んでいるのか？ 本当に無駄な事業が無いのか？

市税収入が4年連続マイナス計上となる厳しい財政状況の下、公共施設の再整備が集中するなど、市の行財政改革は喫緊の課題と考えます。現在、市は民間委託の推進に向けたロードマップを作成し、進めていくつもりだが、合わせて事務・事業の見直しも急務だと考えます。第1回定例会の予算特別委員会で、私に取り上げ、指摘した2つの事業、学校開放事業は、小学校の余裕教室を児童・生徒、地域サークル団体に開放するものです。また返子小、久木小の、校庭と体育館の一般開放、沼間小、池子小については校庭の児童開放する事業であります。現在、(株)パブリックサービスに委託業務しています。24年度予算では、委託料915万円を予算計上しております。市立小学校の5つの教室と4小学校の校庭開放の管理業務の経費としては、かなりの多額と考えます。そして、学校体育施設開放事業は、市立小学校5校及び中学校3校の体育館と運動場及び返子小学校を除く、4小学校のプールを地域体育団体等に開放するものです。24年度予算では、774万9千円、内訳として、プール開放監視業務については、民間業者に委託をし、予算407万7千円、報償費として、学校体育施設開放管理員に対する謝礼金として、336万円を計上しております。24年度は、学校開放事業の委託費と学校体育施設開放事業のプール開放監視業務を除く、管理員謝礼金を合わせて、約1,251万円の経費が掛かる予定です。学校開放事業については平成22年度実績で総利用時間が7,517時間で、8,879,447円、学校体育施設開放事業は、4,317時間で、263万9千円です。学校開放事業が、(株)パブリックサービスに委託ではなく、学校体育施設開放管理員のように切り替えれば、利用時間の換算で、5,261,900円です。3,617,547円の経費削減ができます。ちなみに開放管理員の場合は、原則、鍵の開け閉めの時間給なので、さらに減額となり500万円位の経費削減になります。この2つの事業を一体化させることで、確実に経費の削減に繋がると考えます。担当所管が異なり課題等はありませんが、前向きな対応を求めています。



～市民の皆様からの疑問・質問にお答えします～

- Q 保育園の送迎で雨の日などは車を使用する場合がありますが、駐車スペースがありません。園の近くに市営住宅の駐車場がたくさん空いているけど、活用できないのですか？
- A 市営住宅は国庫補助事業なので、国のルールに基づいて目的外使用は、現状では難しいそうですが、使用できる可能性はあると私は考えていますので今後も市に働きかけていきます。
- Q 中学校給食はいつから始まるの？お弁当のような給食なんですか？
- A 26年度実施に向けて準備中です。ボックスランチ方式で、確かにお弁当のようなものではありませんが、温かく召し上がれます。生徒・保護者に望まれる給食にしなければならないと考えます。

**皆様の声を聞かせて下さい。
市政に対するご意見、ご要望をお待ちしています。**

御名前

御住所

連絡先